

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

# 鳥取県公報

毎週火曜日及び  
金曜日発行  
(当日が休日は、その翌日)

## 目 次

- ◇ 規 則 鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則
- ◇ 告 示 森林法による保安施設地区予定地  
土地収用法による事業の認定(二件)  
開発行為に関する工事の完了  
都市計画事業の認可
- 収入証紙の小売りさばき人の指定  
解<sup>かい</sup>の指定の一部改正
- ◇ 教委規則 鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則
- ◇ 教委告示 昭和五十四年度鳥取県立高等学校募集生徒数
- ◇ 公 告 消防設備士講習の実施  
危険物取扱者試験の合格者

## 規 則

鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

### 鳥取県規則第七十号

鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則等の一部を改正する規則

(鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正)

第一条 鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和三十七年十二月鳥取県規則第七十号)の一部を次のように改正する。

別表の第一種県営住宅の表中 ひばりが丘第三 五、〇〇〇円 を

削り、同表の第二種県営住宅の表中 ひばりが丘第一 三、一〇〇円 を削る。

を削る。

(鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の一部改正)

第二条 鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則(昭和五十一年十二月鳥取県規則第七十一号)の一部を次のように改正する。

附則第三項の第二種県営住宅の表中 ひばりが丘第一 二、四〇〇円 を削る。

円 を削る。

附 則  
この規則は、公布の日から施行する。

告 示

鳥取県告示第千三百三十八号

次の土地を保安施設地区予定地にする旨の通知を受けたので、森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第四十四条において準用する同法第三十条の規定により告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

- 一 保安施設地区予定地の所在場所  
次に掲げる土地に存する標柱一号から標柱六号までを順次結んだ線及び標柱一号と標柱六号を結んだ線に囲まれた区域（次の図に示すとおりとする。）  
鳥取市松上字妙見谷一二五二、一二五三の二
- 二 指定の目的  
土砂の流出の防備
- 三 指定施業要件
  - (一) 立木の伐採の方法
    - 1 主伐に係る伐採種は、択伐とする。
    - 2 主伐として伐採をすることができる立木は、鳥取地域森林計画で

定める標準伐期齡以上のものとする。

3 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

(一) 立木の伐採の限度  
次のとおりとする。

四 指定の有効期間

七年

(「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を鳥取県農林部造林課及び鳥取市役所に備え置いて縦覧に供する。)

鳥取県告示第千三百三十九号

土地収用法（昭和二十六年法律第二百十九号）第二十条の規定に基づき、事業の認定をしたので、同法第二十六条第一項の規定により、次のとおり告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

- 一 起業者の名称  
日吉津村
- 二 事業の種類  
日吉津村宮霊園造成事業
- 三 起業地
  - 1 収用の部分  
西伯郡日吉津村大字富吉地内
  - 2 使用の部分  
なし

四 土地収用法第二十六条の二の規定による図面の縦覧場所  
日吉津村役場

鳥取県告示第千四百四十号

土地収用法(昭和二十六年法律第二百十九号)第二十条の規定に基づき、事業の認定をしたので、同法第二十六条第一項の規定により、次のとおり告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

一 起業者の名称

岩美町

二 事業の種類

岩美町民運動場(テニスコート)建設工事

三 起業地

1 収用の部分

岩美郡岩美町大字浦富字江上地内

2 使用の部分

なし

四 土地収用法第二十六条の二の規定による図面の縦覧場所

岩美町役場

鳥取県告示第千四百四十一号

次の開発行為に関する工事が完了したので、都市計画法(昭和四十三年

法律第百号)第三十六条第三項の規定により告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

一 開発許可の年月日及び番号

昭和五十年二月八日 鳥取県指令受都計第六百六十六号

二 開発区域に含まれる地域の名称

鳥取市東今在家字上向

三 開発許可を受けた者の住所及び氏名

鳥取市富安一丁目六番地四

有限会社 夏目不動産

代表取締役 夏目恵一

鳥取県告示第千四百四十二号

都市計画法(昭和四十三年法律第百号)第五十九条第一項の規定に基づき、都市計画事業の認可をしたので、同法第六十二条第一項の規定により、次のとおり告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

一 施行者の名称

米子市

二 都市計画事業の種類及び名称

米子境港都市計画道路 三―四―二十車尾目久美町線

三 事業施行期間

昭和五十三年十二月二十二日から昭和五十八年三月三十一日まで

四 事業地

収用の部分

米子市車尾字東宮ノ前、字堀端、字前河原、字倉敷東、字前田走り  
上及び字前田地内

使用の部分

なし

鳥取県告示第千四百四十三号

鳥取県収入証紙条例(昭和三十九年三月鳥取県条例第九号)第五条第三項の規定に基づき、収入証紙の小売りさばき人を次のとおり指定したので、同条例同条第四項の規定により告示する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

指定年月日	指定番号	住 所	氏 名	売りさばき場所
昭和五十三年 十二月十五日	四三〇	境港市誠道町 五六番地	株式会社鳥取銀行 誠道支店長	住所と同じ。
昭和五十三年 十二月二十日	四三一	米子市中島 三七〇番地二	株式会社鳥取銀行 米子東支店長	住所と同じ。

鳥取県告示第千四百四十四号

昭和三十九年四月鳥取県告示第二百一十一号(麻かいの指定について)の一部を次のように改正する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

「鳥取県鳥取都市開発事務所 鳥取市東品治町九三の九」を「鳥取県鳥取都市開発事務所 鳥取市今町二丁目二二〇」に改める。

教育委員会規則

鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県教育委員会委員長 藤 間 忠 顕

鳥取県教育委員会規則第九号

鳥取県立学校管理規則の一部を改正する規則

鳥取県立学校管理規則(昭和五十一年四月鳥取県教育委員会規則第九号)の一部を次のように改正する。

別表の一中

美和分校		鳥取農業高等学校				
定時制課程		全日制課程				
農業学科		農業学科				
生活科	畜産科	生活科	食品製造科	園芸科	農業科	
四年	四年	三年	三年	三年	三年	
一五二人		一一四人	一一四人	一一四人	一一四人	
鳥取市源太二二		鳥取市湖山町南三丁目八四八				

美和分校		鹿野分校		鳥取農業高等学校			
定時制課程		全日制課程		全日制課程			
農業学科		農業学科		農業学科			
生活科	畜産科	農業機械科	生活科	食品製造科	園芸科	農業科	
四年	四年	三年	三年	三年	三年	三年	
一五二人		三八人	一〇六人	一〇六人	一〇六人	一〇六人	
鳥取市源太二二		気高郡鹿野町大字鹿野三三一		鳥取市湖山町南三丁目八四八			

に

八頭高等学
若桜分

を

校		校	
全日制課程	全日制課程	普通学科	普通学科
普通学科	家庭学科	家庭学科	普通学科
普通科	家政科	家政科	普通科
三年	三年	三年	三年
四年	二〇人	一、三四四人	八頭郡家町大字久能寺七二五
八頭郡若桜町大字屋堂羅字羽落谷三七			

普通学科	普通科	三年	一、三八六八
家庭学科	家政科	三年	二〇人
八頭郡家町大字久能寺七二五			

業科	報処理科	業科
三年	三年	三年
四〇人	二〇人	三六〇人
境港市竹内町四〇	米子市長砂町二二六	

三六〇人	米子市長砂町二二六
二〇人	

附則  
この規則は、昭和五十四年四月一日から施行する。

に改め、同表境水産高等学校の項中

を

八〇人
-----

を

二〇人
-----

に改める。

に、

米子南商業高等学校	
境港分校	全日制課程
全日制課程	商業学科
商業学科	商業学科
商	情 商

米子南商業高等学校	
全日制課程	商業学科
情報処理科	商業科
三年	三年

八頭高等学校	
全日制課程	

教育委員会告示

鳥取県教育委員会告示第十八号

昭和五十四年度鳥取県立高等学校募集生徒数を次のように定める。

昭和五十三年十二月二十二日

鳥取県教育委員会委員長 藤 間 忠 頭

昭和五十四年度鳥取県立高等学校募集生徒数(募集定員)

高等学 校 名		課 程 名		学 科 名		募 集 生 徒 数	所 在 地
鳥取東高等学校		全日制課程		普通学科	普通科	四二〇人	鳥取市立川町五丁目二一〇
鳥取西高等学校		全日制課程		普通学科 家庭学科	普通科 家政科	四二〇人 八〇人	鳥取市東町二丁目二二二
鳥取商業高等学校		全日制課程		商業学科	商業科 経理科 情報処理科 機械科 電気科	一六〇人 四〇人 四〇人 七六人 七六人	鳥取市湖山町北二丁目四〇一

八頭高等学校		岩美高等学校		鳥取農業高等学校				鳥取西工業高等学校				鳥取工業高等学校		
全日制課程		全日制課程		全日制課程				全日制課程				全日制課程		
家庭学科		普通学科		農業学科				工業学科				工業学科		
農業科	家政科	普通科	普通科	生活科	食品製造科	園芸科	農業科	土木科	電子科	電気科	機械科	工業化学科	建築科	金属工業科
三八人	四〇人	四六二人	一六八人	三八人	三八人	三八人	三八人	三八人	三八人	三八人	七六人	三八人	三八人	三八人
八頭郡家町大字久能寺七二五		岩美郡岩美町大字浦富七〇八〇二		鳥取市湖山町南三丁目八四八				鳥取市湖山町北三丁目二五〇				鳥取市生山一一一		



倉吉工業高等学校			倉吉産業高等学校			倉吉農業高等学校				倉吉西高等学校	倉吉東高等学校	青谷高等学校	智頭農林高等学校		
全日制課程			全日制課程			全日制課程				全日制課程	全日制課程	全日制課程	全日制課程		
工業学科			家庭学科		商業学科	農業学科				普通学科	普通学科	普通学科	農業学科		
電子科	電気科	機械科	家政科	情報処理科	商業科	生活科	畜産科	園芸科	農林科	普通科	普通科	普通科	生活科	木材加工科	林業科
三八人	三八人	七六人	八〇人	四〇人	八〇人	三八人	八〇人			二五二人	二九四人	二二〇人	三八人	三八人	三八人
倉吉市小田字下前田二〇四の五			倉吉市上井四三〇			倉吉市大谷一六六				倉吉市秋喜字清水二〇	倉吉市下田中六一の一	気高郡青谷町大字青谷二、九一二			八頭郡智頭町大字智頭七二の一

米子工業高等学校					米子南商業高等学校	米子高等学校	米子西高等学校	米子東高等学校	赤碓高等学校	由良育英高等学校			
全日制課程					全日制課程	全日制課程	全日制課程	全日制課程	全日制課程	全日制課程			
工業学科					商業学科	普通学科	家庭学科 普通学科	普通学科	家庭学科 普通学科	普通学科			
工業化学科	土木科	電子科	電気科	機械科	情報処理科	商業科	普通科	家政科	普通科	普通科	土木科 工業化学科		
七六人	三八人	三八人	三八人	七六人	四〇人	一一〇人	二二〇人	八〇人	二九四人	三七八人	四〇人 八四人	二二〇人 三八人	三八人
米子市博労町四丁目二二〇					米子市長砂町二一六	米子市橋本字鯨縄手三〇	米子市錦町一丁目二〇三	米子市勝田町一	東伯郡赤碓町大字赤碓一九五七の一	東伯郡大栄町大字由良宿字下の松 四二三の一			

根雨高等学校		境港工業高等学校				境水産高等学校					境高等学校		西部農業高等学校		
全日制課程		全日制課程				全日制課程					全日制課程		全日制課程		
家庭学科	普通学科	工業学科				商業学科	水産学科				家庭学科	普通学科	農業学科		
家政科	普通科	建築科	電子科	電気科	機械科	商業科	機械科	無線通信科	食品製造科	海洋科	家政科	普通科	生活科	農芸化学科	農業園芸科
四〇人	一六八人	三八人	三八人	三八人	七六人	四〇人	三八人	三八人	三八人	三八人	四〇人	二五二人	三八人	三〇人	三〇人
日野郡日野町根雨字馬子田三一〇		境港市竹内町九二五				境港市中野町二、〇〇〇					境港市上道町八二一		西伯郡淀江町大字福岡二四		

合 計	(定時制課程計)						(全日制課程計)					
	境 高 等 学 校	米 子 東 高 等 学 校	倉 吉 東 高 等 学 校	鳥 取 農 業 高 等 学 校 美 和 分 校		鳥 取 西 高 等 学 校	日 野 産 業 高 等 学 校					
	(定時制課程 (夜間課程))	(定時制課程 (夜間課程))	(定時制課程 (夜間課程))	定時制課程		(定時制課程 (夜間課程))	全 日 制 課 程					
	普通学科	普通学科	普通学科	農 業 学 科		商 業 学 科	普 通 学 科	農 業 学 科	商 業 学 科			
	普通科	普通科	普通科	生 活 科	畜 産 科	商 業 科	普 通 科	生 活 科	農 林 畜 産 科	商 業 科		
	四〇人	四〇人	四〇人	三 八 人		四〇人	四〇人	三 八 人	三 八 人	四〇人		
	境港市上道町八二二	米子市勝田町一	倉吉市下田中六一の一	鳥取市源太二二		鳥取市東町二丁目二二二		日野郡日野町黒坂一、一〇七				
六、九四八人	二 三 八 人						六、七二〇人					

# 公 告

消防法（昭和23年法律第186号）第17条の8の2に規定する消防用設備等の工事又は整備に関する講習を次のとおり実施する。

昭和53年12月22日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

## 1 講習の実施区分

講習の区分	講習の対象となる消防設備士の種類及び区分
第二種	第三類の甲種消防設備士及び乙種消防設備士
第四種	第五類の甲種消防設備士及び乙種消防設備士
第五種	第六類の乙種消防設備士

## 2 講習日時

昭和54年2月8日（木） 9時30分から17時まで  
昭和54年2月9日（金） 9時から17時15分まで

## 3 講習場所

倉吉市

## 4 (1) 講習科目と時間

消防用設備等関係法令に関する事項 2時間

防火に関する他法令等に関する事項 1時間

消防用設備等の工事又は整備等に関する事項 4時間

(2) 講習終了後、筆記による効果測定を行う。

## 5 講習科目の免除

講習科目の一部を免除することができる者 消防用設備等の工事又は整備に関する講習の実施細目（昭和49年消防庁告示第2号）第1に定める講習区分のうち一の講習を受けた後6月以内に他の講習を受けようとする者	免除することができる講習科目 消防用設備等関係法令に関する事項
消防庁長官が指定する公共的団体が行う講習を受けた後6月以内に講習を受けようとする者	消防用設備等関係法令に関する事項及び防火に関する他法令等に関する事項

## 6 受講申請手続

(1) 受講申請書の受付期間

昭和54年1月5日から昭和54年1月17日まで（郵送の場合は、1月17日までの消印のあるものは、有効とする。）

(2) 受講申請書の提出先

鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県総務部消防防災課

(3) 提出書類

ア 受講申請書

2以上の区分にわたって受講しようとする者は、講習の区分ごと

に提出すること。

イ 写真

受講申請書提出前6月以内に撮影した縦4センチメートル、横3センチメートル正面上半身像のものを受講申請書にはり付けること。

ウ 講習科目の一部の免除を希望する者は、当該免除を受ける講習の課程を修了した旨を証明する書類

(4) 受講手数料及びその納付方法

ア 受講手数料 3,000円

イ アに記載する金額に相当する鳥取県収入証紙を受講申請書にはり付けて納付すること。この場合、消印しないこと。

(5) その他

ア 受講申請書は、鳥取県総務部消防防災課又は各消防本部に備え付けてある所定の用紙を使用すること。

イ その他不明の点は、鳥取県総務部消防防災課（電話0857-26-7063）に問い合わせること。

昭和53年12月4日に実施した危険物取扱者試験の合格者は、次のとおりである。

昭和53年12月22日

鳥取県知事 平 林 鴻 三

甲種危険物取扱者試験

井上 政之 会見 博範 岸 孝雄 横山 水憲 深田 雄一

山内 啓滋 石谷 道夫 山崎 玲二

乙種第一類危険物取扱者試験

石谷 純規 高見 弘義 松原 義人

乙種第二類危険物取扱者試験

井上 洋

乙種第三類危険物取扱者試験

高見 弘義 安田 研吾 村岡 千城

乙種第四類危険物取扱者試験

安木 浩 前島 武夫 川尻 彰

清水眞太郎 影日 明 米沢 伸明

木村 秀利 川村 昭二 田中 義了

佐竹 武 林 信雄 山尾 弘之

岩谷 義人 中根 隆明 川中 稔

下田 義男 徳永 勉 大野 政雄

大河原 匠 福田 恵 井上 洋子

澤 章治 高垣 洋子 荻谷 幸人

早野 真一 上原 節雄 荻原 清一

大杉 稔 秋本 孝明 沢田 光勇

萩原 増美 谷口 英志 加藤 真澄

房安 辰美 中村 陽一 前田 健二

吉村 英康 山田 徹夫 戸崎 健二

井上 一信 戸田 孝 別本 清

岡西 広秋 杉山紀代子 加藤 敦志

茅原広太良 山田 明子 山田耕次郎

大野 健次 門脇 信義

加藤 幸雄 中村 孝

尾崎 人志 栗山 俊二

伊奈 孝郎 早野 俊孝

大山 春雄 坂本 増之

宮野 政男 宮本 豊

浜野 伸直 岡島 伸英

宮谷 康裕 西小路清志

高橋 清徳 小林 重雄

古田 浩 酒本 秀夫

谷口 和人 秋吉 正士

西村 繁二 柳実 雅生

伊藤 教 山口 藤原 俊郎

市橋 光東 新田 整

山根 和正 勝 濱本 達徳

學公司	達也	謙治	吉沢太郎	小谷貞彦	西本瑞一	松原正	松本活明	德長圭嗣	岸洋治	中島達也	西山敏彦	吉沢善広	河口智之	上山公彦	山崎吉秋	岡村動	岸田光夫		
森田	出村	草刈	市村	山田	吉沢	小谷	小谷	西本	岸	中島	西山	吉沢	河口	上山	山崎	岡村	岸田		
晉勉	三悟	幸	久子	醇已	勝敏	忍	邦彦	隆彦	彰吾	三郎	勝	利美	正行	茂	都美	仲明	悦子		
今井	伊吹	村上	田中	谷口	坂本	小林	河村	森田	伊藤	寺垣	水内	安部	市村	大谷	山本	山根	谷口		
久林	鳥羽	池成	木下	眞先	山根	河上	松尾	福田	中西	小形	西尾	眞里子	芳宏	克也	敦詞	春彦	工		
素子	睦惠	幸江	勝治	俊夫	光	眞	孝之	恒朝	裕二	虎夫	里子	宏	也	人	詞	彦	工		
西山	足羽	松下	足立	山根	川上	山本	山本	上野	谷口	谷口	山根	南條	大浜	加藤	池田	敏彦	和弘		
純一	裕司	良彦	誠治	洋子	直子	尚	篤信	篤朗	進一	卓生	秀德	義人	和弘	和美	敏彦	由浩	健一	朗	
清	正信	民明	木龍	雅己	英行	雅義	一男	徳子	明	研志	正美	尚	康二	正浩	美惠	百合	西垣	和是	
太田	笠田	松原	永田	稲田	川上	森本	山田	日比	細川	溝口	中島	谷口	渡辺	熊沢	安藤	米谷	小百	合	
芳臣	和彦	仁司	司男	勉	康正	眞雄	立野	佐々木	眞美	桑名	陶山	高志	登	弘正	眞山	石田	眞山	一	
信方	八原	野本	倉本	梅林	黒木	船田	藤田	中本	立野	佐々木	眞美	眞雄	康正	眞雄	眞山	石田	眞山	一	
京子	久生	和博	寛	敏行	鉄男	寛	久寛	幸雄	寛	哲郎	陽横	正二	博	貞徳	道則	田中	道則	田中	
尾崎	関	中	和智	智之	敏行	鉄男	寛	幸雄	寛	哲郎	陽横	正二	博	貞徳	道則	田中	道則	田中	
正則	律子	敏夫	雅春	清勝	司之	公之	健二	照明	夫	夏樹	栄司	正博	一郎	素清	廣行	廣行	廣行	廣行	
福光	小倉	田川	敏夫	雅春	清勝	司之	健二	照明	夫	夏樹	栄司	正博	一郎	素清	廣行	廣行	廣行	廣行	
敏彦	雅巳	恵司	大郎	健	繁	治	隆造	茂夫	康人	太治	虎三	宣之	唯秋	幸一	幸一	幸一	幸一	幸一	
竹信	田中	斉藤	新太郎	河場	阿南	岡村	福富	池淵	棚橋	濱野	小松	小林	浦	福留	中尾	幸一	幸一	幸一	
良子	孝志	敏博	幸栄	昇	喜昭	祐一	維夫	勉	昇	士	昭	小松	小林	浦	福留	中尾	幸一	幸一	
越野	北尾	宮脇	森下	山本	石田	杉山	福嶋	眞栄	山崎	山中	石倉	百千田	賢治	宮本	日置	秋葉	秋山	乙種	
乙種第六類	乙種第五類	乙種第四類	乙種第三類	乙種第二類	乙種第一類	甲種	丙種	丁種	戊種	己種	庚種	辛種	壬種	癸種	甲種	乙種	丙種	丁種	戊種

小橋 親男	細井 三郎	前田 山根	山尾 山越	穀 重	強 吾	士師 山下	博 幸夫	笠原 小谷	二 透	坂根 吉田	洋子 保夫	門木 三谷	猛 淳	中田 井上	裕之 幸弘
山根 健	中山 秀範	中山 正	鳥越 中	森田 前田	新吾 京子	山下 城	幸夫 良一	河本 岡村	政美 昭人	吉田 小坂	保夫 敏則	杉川 大野	義昭 盛師	井上 川口	正幸 明弘
金谷 正宏	福山 薫	猪口 純一	長砂 田	大石 内	清春 清	大西 敏	正明 敏仁	高杉 杉	昭人 弘一	吉田 渡辺	敏則 勇治	野口 大野	前田 義昭	川口 穰	敏 誠
中井 誠	加賀田 智	西浦 義孝	垣谷 西尾	山根 小谷	正直 慎一	浜根 明	敏仁 明	山本 入江	公一 正己	入江 山根	利博 洋	福井 野口	野間田 穰	野間田 幹夫	誠 夫
加藤 英一	山本 直樹	井上 義明	坂本 國石	小野里 小野	馨 志誠	山崎 正道	孝男 崇	入江 岩谷	修 常	西村 西田	里美 泰延	本池 本池	西中 西中	福本 中田	伸一 和彦
小田原 義彦	池沢 喜子	谷本 義明	藤原 重夫	山本 山本	勳 誠	齋木 信孝	孝男 崇	荒尾 斐	孝男 志弘	西田 福景	大基 裕之	北村 大門	義弘 茂	八原 中田	光昭 和彦
高嶋 好弘	中原 浩二	池沢 喜子	米田 平尾	岡田 森田	勳 誠	永見 桐男	茂敏 史	岩田 斐	孝男 志弘	井田 福景	大基 裕之	大門 黒見	悟志 生	潮 八原	光昭 和彦
長谷川 巧	植田 孝	山本 孝美	乾 博篤	原 健二	雄二 樹	山下 本郷	篤史 己	吉田 速水	一弘 久	安田 宝意	裕之 通	村上 今井	治生 克明	西村 記念	夫 史
棚田 耕司	鎌田 寿雄	前田 正照	橋本 義人	水石 戸	健二 樹	倉谷 大谷	義雄 二	小林 先	利治 助	竹内 宝意	則嗣 通	今井 中	睦美 也	梶野 尾	史 夫
牧田 昌典	市村 健二	鐵本 彰利	森 晴彦	岡本 一	一男 樹	岡田 野口	力 充	野口 白根	幸夫 助	足立 中	之 人	山中 布野	浩志 司	瀬野 野	明 誠
中村 恭雄	紅盛 和夫	竹中 裕二	津村 正人	敬一 夫	一男 樹	野口 秋末	節浩 和彦	河村 白根	幸夫 助	石原 孝太郎	秀夫 学	木村 大森	順一 和明	池口 八谷	圭司 丸
山口 一志	鈴木 英一	山根 和彦	小林 裕司	豊美 真一	一男 樹	堀田 悦男	悦男 智子	田 久	武美 久	山影 之助	学 助	安藤 春美	川本 八谷	圭司 丸	丸 圭司
星見美佐恵	松田 雅彦	北村 誠一	岩本 岸田	郁人 稔	修 修	川原美智子	智子	田 久	武美 久	吉田 之助	学 助	安藤 春美	川本 八谷	圭司 丸	丸 圭司

昭和十一年十二月二十二日 敬啓 株式会社 敬啓 (東京市神田區)